

春季学術講習会の開催／郡山シティーマラソン大会に参加



4月23日(日)、けんしん郡山文化センター(郡山市民文化センター)4階 第3会議室にて平成31年度定時会員総会ならびに春季学術講習会が開催されました。

定時会員総会では役員改選が行われました。三瓶真一会長が会長二期目を再選され会務継続となりました。本年度は本会の創立70周年の節目の年度です。12月には70周年記念事業として県民公開講座を開催いたします。公開講座のテーマを「ストレス社会における鍼灸の役割」とし、2つのご講演に加え、記念式典・祝賀会の開催に向けて準備を行っております。会員の皆様のご理解とご協力をいただき、盛会にしたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

午後からは春季学術講習会が開催されました。講演1は「**東北大学での、鍼灸、漢方の教育、研修、研究、診療実際、地域医療への取り組み**」と題し、東北大学病院 総合地域医療教育支援部 准教授 高山真先生にご講演いただきました。演題名とおりの広範囲、且つ大変難しい内容でしたが順序よくまとめられておりました。鍼灸の有効性、有用性を大学機関で研修・研究し、それを国民に還元しようという想いが伝わってきました。

講演2は「**療養費等適正運用指導研修会**」として本会保険部長の橋本修一先生が会員に説明しました。目まぐるしく変わる療養費問題を常に最前線で情報収集してくださっています。



4月29日は第26回群馬シティーマラソン大会でした。出場するランナーを鍼灸でサポートするために本会の会員および福島医療専門学校の学生・教職員で参加してきました。



強風吹き荒れ、気温も上昇する中でのレースはランナーにとって芳しくないコンディションでした。鍼灸ブースには開始前からたくさんのランナーが調整に訪れました。今年はテーピングを希望されるランナーが特に多かった印象です。

アイドルタイムには三瓶会長の「男性不妊」に関するプチ講義もあり、多くの学生が囲んでおりました。いつも惜しみなく知識と実技を披露していただきありがとうございます。

鍼灸ブースを訪れ施術を受けたランナーは数年ぶりに100名を超え、盛況に終わることができました。来年も本会は鍼灸でランナーのサポートを行ってまいります！